

(2) 交流促進に向けた本協議会の取組状況について

環瀬戸内海地域の交流促進に向けた本協議会の取組

環瀬戸内海地域の魅力の向上

◆環瀬戸内海地域のスポーツ観光の振興

(愛媛県・広島県)

- サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪
(四国一周ルートと地域ルートを組み合わせ、一体的にPR)
- サッカー公式試合での交流促進

◆瀬戸内海の「海」の魅力の発信

(香川県・岡山県)

- 本四架橋を中心としたインフラツーリズム
(民間が主体となったインフラツーリズムの取り組み)に変更
- 瀬戸内海国立公園ウォーク

◆環瀬戸内海地域の歴史や文化のネットワーク化

(高知県・本四高速)

- 歴史的遺産のネットワーク構築とPR
- 文化芸術ネットワークの推進

◆環瀬戸内海地域における食文化の発信・伝承

(徳島県・兵庫県)

- 食文化のPR
(環瀬戸内海地域の体験型食イベントPR)を追加

移動しやすい環境の整備

●高速道路ナンバリング等

【年次計画の策定】《各県が主体的に推進》
【印刷物への記載促進】《各県が主体的に推進》

●観光地名称を表示した標識

【直轄国道以外に拡大】《各県が主体的に推進》

●案内の多言語化

【英語表記の適正化】《各県が主体的に推進》

●観光地における渋滞緩和

【観光地における渋滞対策の検討・対策実施】《各県が主体的に推進》

●利用者目線に沿ったモデル周遊ルートの設定

【観光地までのルート、所要時間を案内】《各県が主体的に推進》

「道の駅」の観光拠点化

●「道の駅」におけるインバウンド対応・交流促進の取組

【観光客の実態調査】《地整が事例収集・提供、各県が主体的に推進》
【トイレの洋式化、フリーWi-Fi設置、体験型アトラクション等の充実、
クレジットカード対応・免税対応、多言語化】《各県が主体的に推進》
【道の駅での相互連携】《地整・各県が主体的に推進》

●「道の駅」施設管理における見える化

【情報提供施設・トイレ等を評価し、各道の駅で快適性向上の取組を実施】《地整がとりまとめ、快適性向上の取組を各県が主体的に推進》

情報発信

- 【自治体広報誌で四国・中国地域の相互広報】《高知県》
- 【情報コンテンツの充実・オフィシャルロゴ】《本四高速・四国地整》
- 【四国八十八景のプロモーション】《四国運輸局》
- 【本四高速の新たな料金の広報】《本四》
※その他SNSやHPを活用した情報発信

本四高速道路周年記念事業

■ サッカー公式試合での交流促進（前年度の取組と効果）

【愛媛県・広島県】

■ 本州連絡道路の利用促進のためのPR

【取組み概要】

サッカー Jリーグ公式戦の観客に対し、本州と四国間の交流促進につながるよう本協議会で取組んでいる成果等をPR

【内容】

本四間の交流促進に繋がるためのPR

サッカー Jリーグ公式戦の試合会場で観客に対し、本州と四国間の交流促進につながるパンフレットや本協議会の交流促進に向けた取組成果等（スポーツ観光の振興、海の魅力の発信、歴史や文化のネットワーク化、食文化の発信・伝承）によりPRを実施

◆香川県丸亀市で開催されたカマタマーレ讃岐（ホーム）対ファジアーノ岡山の試合で、香川県・本四高速(株)が連携してブースを出展し、本四利用促進と香川の観光パンフレットを配布するなどPRを実施済。(H30.6.23 観客数5,668人)

◆愛媛県砥部町で開催される愛媛FC対ファジアーノ岡山の試合でブース出展し、本四利用促進と愛媛県・広島県の観光パンフレットを配布するなどPRを実施済

【愛媛県・広島県・本四高速(株)】(H30.7.21 観客数3,135人)

【取組効果】

サッカー公式戦（J2）で本四間の交流促進PRを実施

カマタマーレ讃岐対ファジアーノ岡山(H30.6.23)
香川県・本四高速(株)岡山管理Cが連携してブース出展



愛媛FC対ファジアーノ岡山(H30.7.21)
愛媛県・本四高速(株)今治管理Cが連携してブース出展



■ サッカー公式試合での交流促進（今後の取組）

【愛媛県・広島県】

【今後の取組】

- ◆ 愛媛県砥部町で開催される愛媛 F C 対ファジアーノ岡山の試合でブース出展し、本四利用促進と広島・愛媛の観光パンフレットを配布するなど P R を実施。

【愛媛県・広島県・本四高速(株)】(令和元.8.4 観客数4,556人)

- ◆ 徳島県鳴門市で開催される徳島ヴォルティス対ファジアーノ岡山の試合でブース出展し、本四利用促進と徳島・兵庫の観光パンフレットを配布するなど P R を実施。

【徳島県・兵庫県・本四高速(株)】(令和元.10.13 観客数7,036人)

今後も、本四間の交流促進に繋がるための P R として、サッカー J リーグ公式戦の試合会場で観客に対し、本州と四国間の交流促進につながるパンフレットや本協議会の交流促進に向けた取組成果等（スポーツ観光の振興、海の魅力の発信、歴史や文化のネットワーク化、食文化の発信・伝承）により P R を実施

愛媛FC対ファジアーノ岡山(令和元.8.4)
愛媛県・本四高速(株)今治管理Cが連携してブース出展



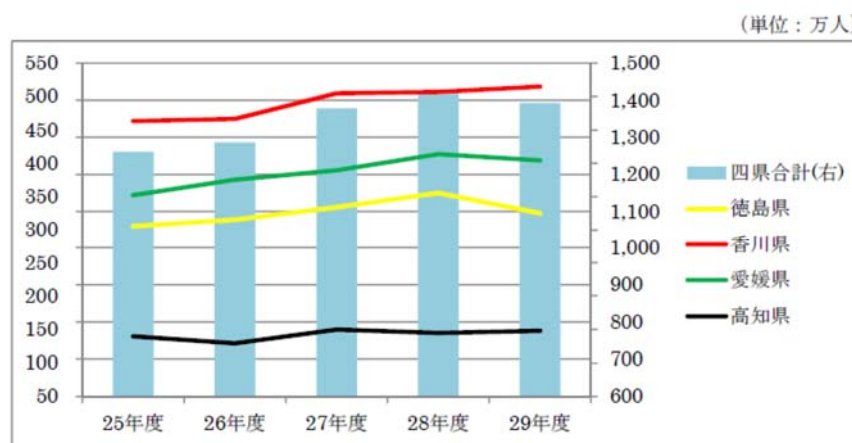
徳島ヴォルティス対ファジアーノ岡山(令和元.10.13)
徳島県・本四高速(株)徳島管理Cが連携してブース出展



【取組効果】

- 観光客や公式試合の各客数の増加を期待するとともに、スポーツ観光の振興、海の魅力の発信、歴史や文化のネットワーク化、食文化の発信・伝承等様々な取組みの P R

四国の主要観光地の入込客数



■サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪（前年度の取組と効果）

【愛媛県・広島県】

■サイクリングコースの整備（統一された規格等整）

【取組み概要】

■安全で快適なサイクリング環境整備を目指し、ブルーライン、コース案内板、注意喚起看板など統一規格等によるサイクリングコースの整備を推進するため、環瀬戸内海の地域においてモデルコース21コースを選定

■四国一周路面標示ピクト整備開始（H30.12.12）熟度が高いモデルコースから優先的に整備する。

【内容】



注意喚起ピクト設置



注意喚起看板設置

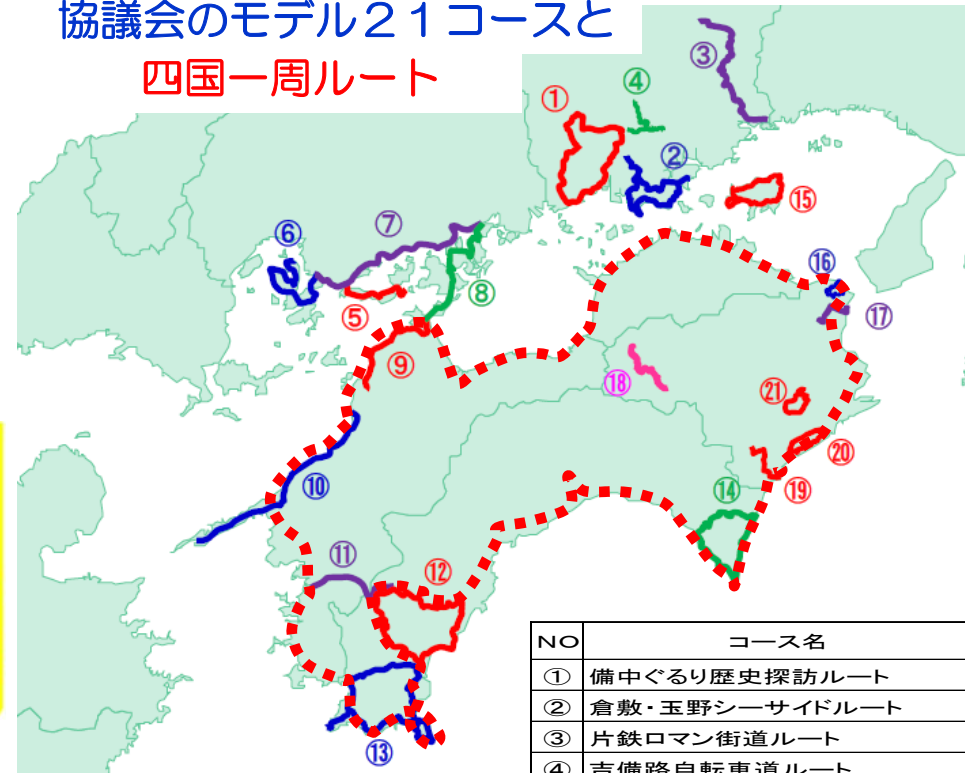


ブルーライン設置



コース案内板設置

協議会のモデル21コースと 四国一周ルート



NO	コース名
①	備中ぐるり歴史探訪ルート
②	倉敷・玉野シーサイドルート
③	片鉄ロマン街道ルート
④	吉備路自転車道ルート
⑤	とびしま海道サイクリングロード
⑥	かきしま海道サイクリングロード
⑦	さざなみ海道サイクリングロード
⑧	しまなみ海道サイクリングロード
⑨	今治・道後はまかぜ海道
⑩	伊予灘・佐田岬せとかぜ海道
⑪	宇和島・四万十だんだん街道
⑫	四万十ヘブンズロード
⑬	足摺チャレンジコース
⑭	室戸世界ジオパークコース
⑮	小豆島一周サイクリングルート
⑯	鳴門海峡渦潮コース
⑰	阿波踊りと人形浄瑠璃コース
⑱	秘境祖谷街道コース
⑲	清流海部川轟の滝コース
⑳	南阿波サンラインコース
㉑	四季折々もみじ川コース

【取組効果】

各県から協議会のモデル21コースを選定

室戸世界ジオパークコースサイクリングルート整備の取組み 【サイクリング誘客促進事業】【高知県】

取組の概要

サイクリングによる地域観光を促進し、来訪者の増加による地域活性化を図るため、サイクリングルートを設定した上で、安全で快適なサイクリング環境の整備として、路面標示や注意喚起看板等のハード整備、及びサイクリングマップの作成やサイクルオアシスの整備等のソフト整備を行なった。

①サイクリングルートの設定



②ハード整備

路面標示の例



注意喚起看板

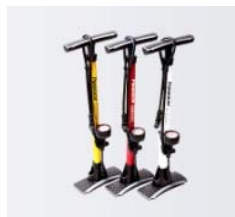


③ソフト整備

【概要】

サイクリストのための休憩施設

- ・のぼり旗の設置
- ・空気入れの設置
- ・バイクスタンドの設置
- ・水、トイレ、休憩スペース
- ・設備（ベンチ等）の無償提供



施工済み箇所の例



■サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪（前年度の取組と効果）

【愛媛県・広島県】

■利便性向上に向けた取組

（しまなみ海道自転車道無料化の継続）

【取組み概要】

瀬戸内しまなみ海道の自転車通行料金の無料化は、本四高速(株)が、期間限定の企画割引で実施している。通行料金が無料となったことにより、料金の支払いに伴う一旦停止が不要となり、安全で快適なサイクリングが気軽にでき、瀬戸内の絶景が楽しめることも相まって、国内外から多くのサイクリストが高速道路などを利用して訪れ、沿線の観光施設等は大変にぎわっている。

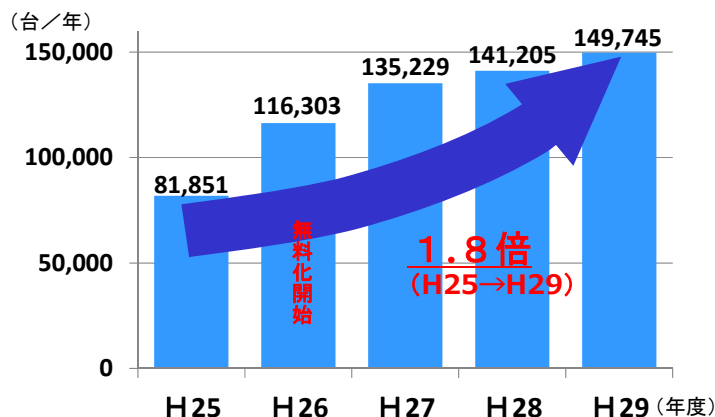
【内容】

令和元年4月1日～令和2年3月31日

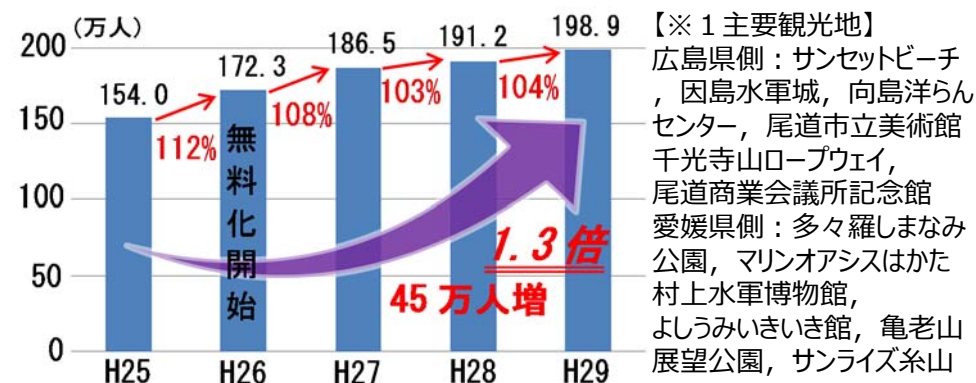
今治市～尾道市までの瀬戸内しまなみ海道自転車通行料金(500円)を減収補填することにより無料で利用

【取組効果】

◆レンタサイクル貸出台数の推移（H25～H29）



◆主要観光地（※1）の入込客数の推移（1～12月）



【※1 主要観光地】
 広島県側：サンセットビーチ，因島水軍城，向島洋らんセンター，尾道市立美術館，千光寺山ロープウェイ，尾道商業会議所記念館
 愛媛県側：多々羅しまなみ公園，マリンオアシスはかた，村上水軍博物館，ようみいきい館，亀老山展望公園，サンライズ糸山



※料金投入のために停止する必要がなくなりました。



※国内では唯一高速道路本線を通行できるサイクリング大会



■サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪（前年度の取組と効果）

【愛媛県・広島県】

■サイクリングに関する広報連携

【取組み概要】

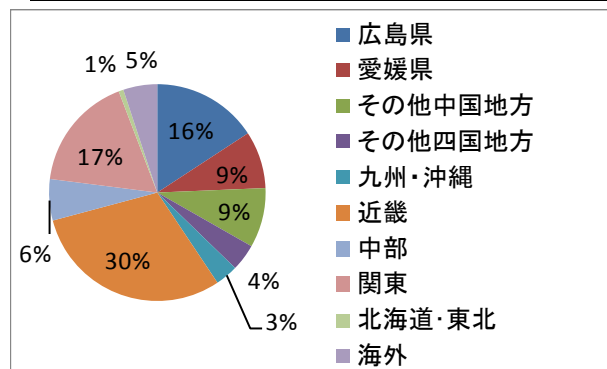
サイクリングに親しみ、地域間交流を促進させるため、サイクリングに関する情報発信を実施している。

【内容】

環瀬戸内海地域におけるサイクリングコースやサイクリング大会等について、自転車フェスでのPR及びHP等で情報発信

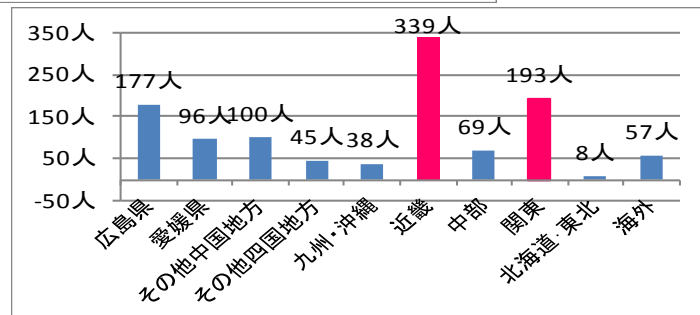
【取組効果】

◆しまなみ海道自転車道利用者に対するアンケート結果



※居住地は、
関東 17%
近畿 30%
を占めている

※広域的な交流
促進が図られて
いる。



自転車フェス(サイクルモードインターナショナル)でPR
平成30年11月9日～11日千葉県幕張メッセにて、約2万6千人の来場者に対して、瀬戸内しまなみ海道をアピール



自転車フェス(埼玉サイクルエキスポ)でPR
平成31年2月16日～2月17日埼玉県 さいたまスーパーアリーナにて、約2万9千人の来場者に対して、瀬戸内しまなみ海道をアピール



自転車フェス(サイクルモードライド大阪)でPR
平成31年3月2日～3月3日に万博記念公園において、約1万4千人の来場者に対して瀬戸内しまなみ海道をアピール



■サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪（前年度の取組と効果）

【愛媛県・広島県】

■国と地域が連携したルート of 整備

【取組み概要】

進協議会のモデルルートと国と 地域が連携したルートのP R及びサイクリング環境の整備を一体的に推進する。

1. 四国一周路面案内ピクトの整備

〔サイクリングアイランド四国推進協議会〕

■第1回協議会：四国一周を目指すサイクリストが走行中に迷わないよう、路面案内ピクトの統一デザインを決定（H30.5.23）

■第2回協議会：平成31年度までに、5km間隔を目安に敷設を完了する整備計画を決定（H30.10.30）



路面案内ピクト



整備開始セレモニー
(H30.12.12松山市)

2. 四国一周マップ製作（4県連携事業）

■四国4県で連携し、「サイクリスト視点」と「トリップアドバイス視点」の両方を兼ね備えた4県のマップを製作（H30.10）



愛媛スタート編



高知スタート編

サイクリングアイランド四国

3. 四国一周モニュメント

■四国一周完走者を迎え入れるため、また、国内外から訪れるサイクリストに四国一周サイクリングを認知してもらうため、サイクリストの聖地碑周辺に四国4県の名所の位置に合わせたベンチ型自然石を10個設置（H31.3.21）



ベンチ型自然石



4. 四国一周ファンミーティング

■四国一周サイクリストの交流を深めるために開催（H31.3.21）

- ・完走者サイクリング：10都府県・台湾から62名
- ・四国一周ファンミーティング：17都府県・台湾から120名

（※ホスト・ゲスト：知事、今治市長、トニー会長、一青氏ほか）



■サイクリングでつなぐ環瀬戸内海の輪（今年度のこれまでの取組と今後の取組）【愛媛県・広島県】

【今年度のこれまでの取組】

- サイクリングコースの整備（統一された規格による整備）
 - ◆モデルコース21コースを整備
- 四国一周路面標示ピクト整備

【今後の取組】

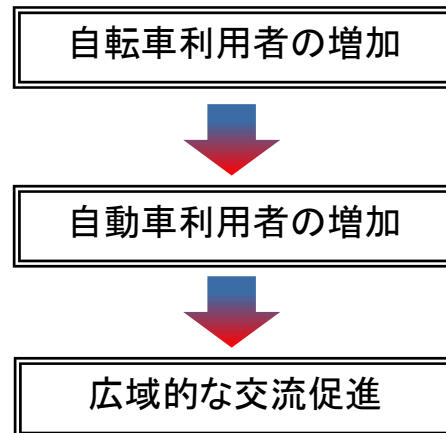
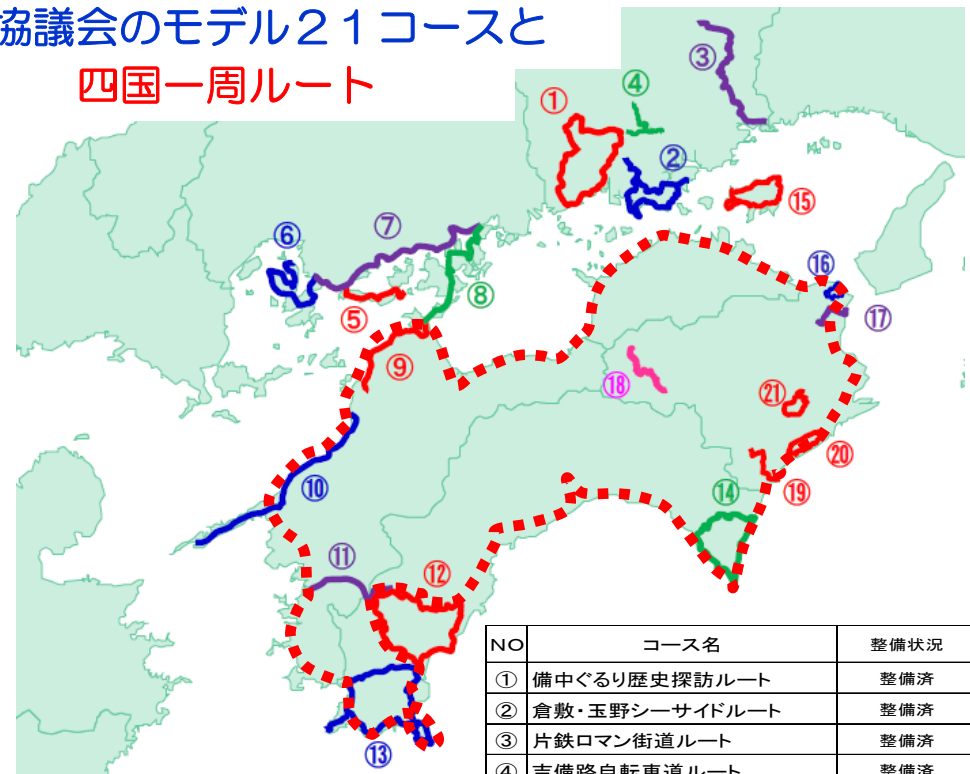
- サイクリングコースの整備（統一された規格による整備）
 - ◆決定したモデルコース21コースで、統一した規格等により整備を実施
- 利便性向上に向けた取組
 - ◆しまなみ海道自転車道の自転車通行料金の無料化の継続要望（R元.4～）
 - ◆アンケート調査を実施し、ニーズを検証
- サイクリングに関する広報連携
 - ◆H Pの更新、情報発信
 - ◆サイクリングに関するフェス等で環瀬戸内海サイクリングコースに関する魅力発信
- 国と地域が連携したルートの整備
 - ◆四国一周ルートについて路面案内ピクトを、令和元年度までに整備予定

【取組効果】

- 国内外のサイクリストが安全・安心にサイクリングコースを周遊
- モデルルートを利用したサイクリング大会の開催
- レンタサイクル貸出台数、主要観光施設の入込 客数、自転車交通量等が増加

協議会のモデル21コースと

四国一周ルート



NO	コース名	整備状況
①	備中ぐり歴史探訪ルート	整備済
②	倉敷・玉野シーサイドルート	整備済
③	片鉄ロマン街道ルート	整備済
④	吉備路自転車道ルート	整備済
⑤	とびしま海道サイクリングロード	整備済
⑥	かしま海道サイクリングロード	整備済
⑦	さざなみ海道サイクリングロード	整備済
⑧	しまなみ海道サイクリングロード	整備済
⑨	今治・道後はまかせ海道	整備済
⑩	伊予灘・佐田岬せとかぜ海道	整備済
⑪	宇和島・四万十だんだん街道	整備済
⑫	四万十ヘブンズロード	整備済
⑬	足摺チャレンジコース	整備中
⑭	室戸世界ジオパークコース	整備済
⑮	小豆島一周サイクリングルート	整備済
⑯	鳴門海峡渦潮コース	整備中
⑰	阿波踊りと人形浄瑠璃コース	整備予定
⑱	秘境祖谷街道コース	整備予定
⑲	清流海部川轟の滝コース	整備予定
⑳	南阿波サンラインコース	整備中
㉑	四季折々もみじ川コース	整備予定

中国地方におけるサイクルツーリズムの推進

観光ビジョン推進中国ブロック戦略会議
観光産業・地域づくりWG／観光資源魅力向上WG 合同会議資料より抜粋

参考資料

提案の趣旨

- 中国地方では、各県や自治体等、各地においてサイクリング推進に向けた検討が進められているほか、「中国地方知事会」でも広域推奨ルートを選定などの検討が進められているところ。
- また、民間組織等によるサイクリスト向けの拠点や観光コンテンツづくりが動き出しつつある。
- 自転車の「走行環境整備」、サイクリストの「受入環境整備」、「魅力づくり」、「情報発信」等について、官民が連携して計画的に取り組む必要。
- もって、**中国地方が、国内外から何度でも訪れたい魅力的なサイクリングエリアを目指す。**



中国地方知事会令和元年度第1回知事会議資料
(R1.5.29) HPより抜粋



＜クルーズ船で訪日されるインバウンドの取り込み＞



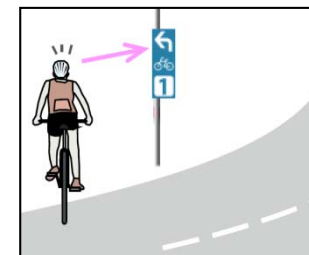
ONOMICHI U2
(サイクリスト専用ホテル、レストラン等複合施設)

検討内容(案)

- ・ 中国地方全体でのサイクルツーリズム推進に向けた課題と取組方針検討、進捗管理
- ・ 対象ルートにおける優先度の検討(サイクリストの声や関連データの収集、分析) 等
- ・ 具体の取組、検討内容
 - ①自転車走行帯の整備(路面標示、案内看板等)
 - ②休憩施設の整備(道の駅、みなとオアシス活用)
 - ③クルーズ旅客の取り込み(受入環境の整備)
 - ④魅力づくり(滞在コンテンツの充実・強化)
 - ⑤情報発信(ルートマップ、ICT活用)



＜路面標示＞



＜案内看板＞



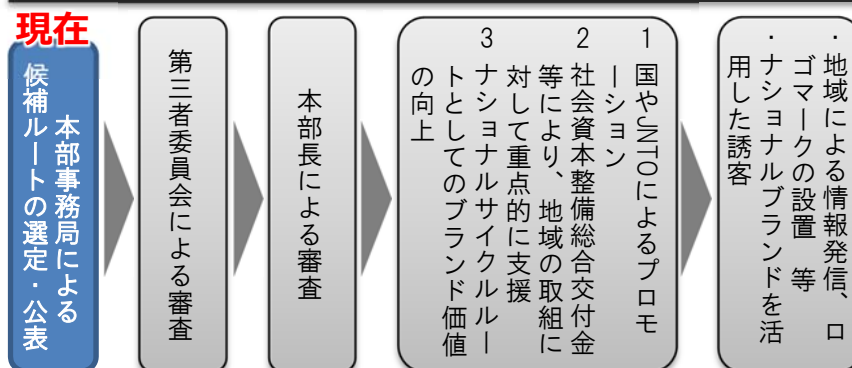
取組の概要

- ◆「ナショナルサイクルルート制度」が創設（令和元年9月9日）され、第1次ナショナルサイクルルート候補ルートとして選定された3箇所に「しまなみ海道サイクリングロード（広島県・愛媛県）」が選定。
- ◆ルートにおける取組の継続性を評価する必要があることから、新たなルートの指定の有無の確認については、国の自転車活用推進計画期間内に1回とし、3～5年ごとに実施されることから継続的な取組が必要。

■ ナショナルサイクルルートの指定要件

観点	指定要件
1. ルート選定	サイクルツーリズムの推進に資する魅力ある安全なルート
2. 走行環境	誰もが安全・快適・迷わず安心して走行できる環境の整備
3. 受入環境	・多様な交通手段に対応したゲートウェイの整備 ・いつでも休憩できる環境の整備 ・ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境の整備 ・サイクリストが安心して宿泊可能な環境の整備 ・地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境の整備 ・自転車のトラブルに対応できる環境の整備 ・緊急時のサポートが得られる環境の整備
4. 情報発信	誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えている
5. 取組体制	官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制の確立

■ ナショナルサイクルルートの指定手続き



■ 第1次ナショナルサイクルルート候補ルート

つくば霞ヶ浦りんりんロード	茨城県（約180km） JR岩瀬駅～JR土浦駅及び霞ヶ浦一周
ビワイチ	滋賀県（約190km） 琵琶湖一周
しまなみ海道サイクリングロード	広島県・愛媛県（約70km） JR尾道駅前～サンライズ糸山

しまなみ海道サイクリングロード
(広島県・愛媛県)つくば霞ヶ浦
りんりんロード

ビワイチ

しまなみ海道サイクリングロード サイクルツーリズム推進のための取組一例

セーフティマット設置
(45社協賛)しまなみサイクルトレイン
(JR四国)

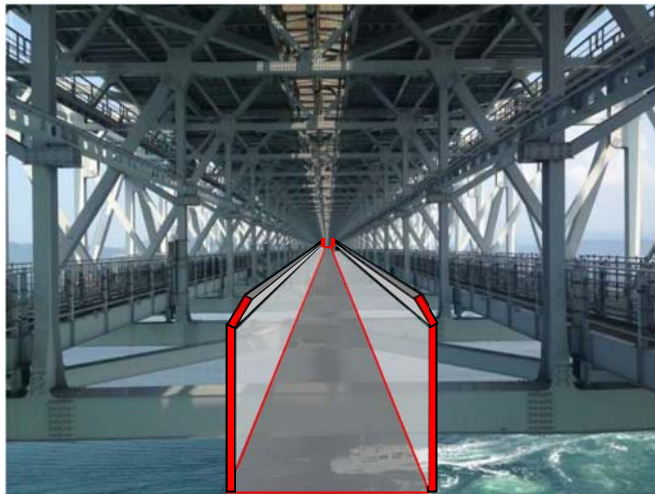
サイクリスト専用ホテル

CNNI「世界7大サイクリング
ルート」に選定

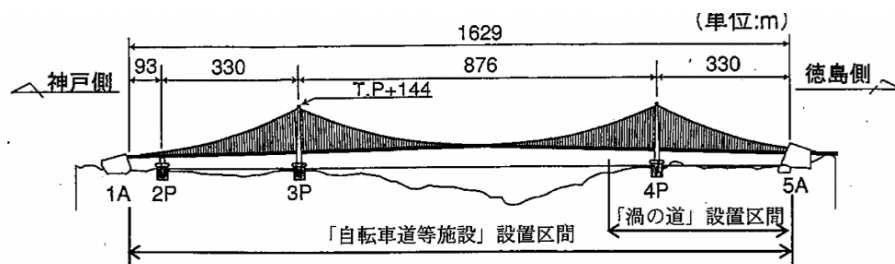
■ 大鳴門橋を利用した観光振興の促進（徳島県・兵庫県）

大鳴門橋における自転車道設置の検討 （兵庫県南あわじ市～徳島県鳴門市）

近年、サイクリングに対する需要が高まり、淡路島や鳴門市地域における一層の観光振興の促進を目的に、桁下空間を活用した自転車道設置について検討中

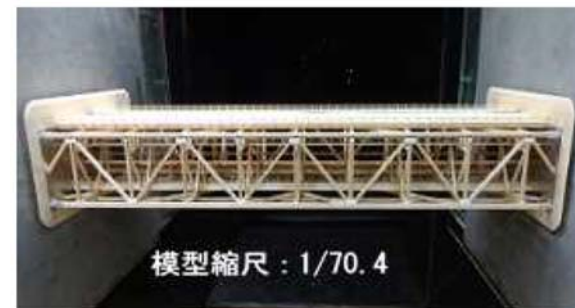
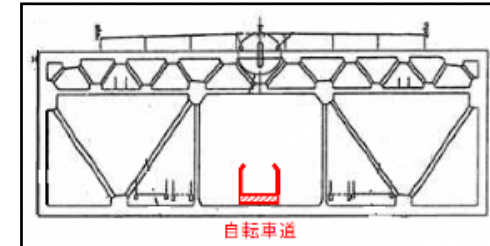


【自転車道設置イメージ(断面図)】



【検討内容】

○自転車道設置に伴う「重量増加による影響」や「暴風時における安全性」について、構造解析、風洞試験等により検討



【橋桁の部分模型を用いた風洞試験状況】

【検討結果】

○構造解析、風洞試験及び数値解析により、耐風安定性が確保されることを確認

【今後の予定】

○実現に向け、大鳴門橋全体の自転車道の配置計画、構造設計等に取り組む

■ 食文化PR（前年度の取組と効果）

【徳島県・兵庫県】

1. 地域イベントと連携した食のPR

【取組内容】

パネル展等により環瀬戸内地域の食文化を発信するとともに、パンフレット配布により観光等もPR

○食に関するパネル展を開催

- ・ H30. 7. 28 豊浜SA 観光イベント（観音寺市）
- ・ H30. 11. 24, 25 えひめ・まつやま産業まつり（松山市）
- ・ H30. 12. 2 上板SA まっちゃんぐフェスタin上板
- ・ H30. 12. 8 姫路市中央卸売市場 市場まつり（姫路市）



えひめ・まつやま産業まつり



まっちゃんぐフェスタin上板

【取組効果】

- ・パンフレット配布数：総数**4,800冊**（H29:1,800冊）
- ・パネル展等により環瀬戸内地域の食文化を発信するとともに、パンフレット配布により観光等もPR

2. ⑨環瀬戸内海地域の体験型食イベントPR

【取組内容】

- H30.12.8 姫路市中央卸売市場「市場まつり」にて、
- ・「体験型食イベント」及び「地産地消協力店」のPRパンフレットを作成配布
- ・「新鮮なっ！とくしま」号と連携しPRを実施

【新鮮なっ！とくしま号】



【淡路島&徳島 とくしま周遊ガイド】



とくしま号の行列



姫路市中央卸売市場 市場まつり

【取組効果】

- ・「新鮮なっ！とくしま」号との連携により
なると金時や県産ブロッコリーを使用した試食品を
その場で調理し提供
- ・**長蛇の列ができる程の大盛況**となり、実食と
パンフレット配布により効果的に食文化のPRを促進

■ 食文化PR（前年度の取組と効果）

【徳島県・兵庫県】

3. 神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施

【取組内容】

大鳴門橋や明石海峡大橋の魅力あるインフラを活用したウォークイベントを行うとともに、徳島県内及び淡路島内の各種施設にて特典が受けられる「おどる宝島！パスポート」等を活用し、食や観光をPR

①明石海峡大橋「海上ウォーク」：H30. 8. 31～ 9. 1、H30. 11. 10～11. 11

②大鳴門橋「うずしおウォーク」：H31. 3. 8～ 3. 9



明石海峡大橋「海上ウォーク」

大鳴門橋「うずしおウォーク」

【取組効果】

・参加人数：2,595人

「明石海峡大橋海上ウォーク」終了時には、参加者に淡路島特産の「たまねぎスープ」を提供

・参加人数：277人

「大鳴門橋うずしおウォーク」では、新たに現地集合プランを組み入れ、参加しやすい環境を創出

■ 食文化PR（今年度のこれまでの取組と今後の予定）

【徳島県・兵庫県】

1. 地域イベントと連携した食のPR

【今年度のこれまでの取組】

パネル展等により環瀬戸内地域の食文化を発信するとともに、パンフレット配布により観光等もPR

○食に関するパネル展を開催

- ・R1.4.16 宝塚北SA 観光イベント（宝塚市）
- ・R1.6.16・10.14 豊浜SA 観光イベント（観音寺市）
- ・R1.10.13 鳴門大塚スポーツパーク Jリーグ（鳴門市）



豊浜SA



鳴門大塚スポーツパーク



【今後の取組】

○食に関するパネル展を引き続き開催

- ・R1.11.15-17 えひめ・まつやま産業まつり（松山市）
- ・R1.12.1 上板SA まっちゃんぐフェスタin上板
- ・R1.12 姫路市中央卸売市場 市場まつり
- ・R2.2 豊浜SA 観光イベント（観音寺市）

・各地域イベントにおいて食文化のPRを実施

2. 環瀬戸内海地域の体験型食イベントPR

【今年度のこれまでの取組】

「阿波ふうど号」との連携により「体験型食イベント」を実施するとともに、「地産地消協力店」のPRを実施

○体験型食イベントを開催

- ・R1.4.16 宝塚北SA 観光イベント（宝塚市）

【阿波ふうど号】



宝塚北SA 観光イベント・体験型食イベントとの連携

【今後の取組】

○「体験型食イベント」を引き続き開催

- ・R1.12 姫路市中央卸売市場 市場まつり

- ・「阿波ふうど号」等との連携により
県産食材を使用した試食品を
その場で調理し提供
- ・情報発信力が高い「道の駅」を活用し、
体験型食イベントのパンフレットの配布
によるPRを実施



道の駅



■ 食文化PR（今年度のこれまでの取組と今後の予定）

【徳島県・兵庫県】

3. 神戸淡路鳴門自動車道の連携強化事業の実施

【今年度のこれまでの取組】

大鳴門橋や明石海峡大橋の魅力あるインフラを活用したウォークイベントを行うとともに、徳島県内及び淡路島内の各種施設にて特典が受けられる「徳島たびプラス」等を活用し、食や観光をPR

① 明石海峡大橋「海上ウォーク」：R1. 5. 25～5. 26 【参加人数：2,187人】

② 大鳴門橋「うずしおウォーク」：R1. 9. 14～9. 15 【参加人数：243人】

徳島の食文化等をPR



淡路島の観光等をPR



明石海峡大橋「海上ウォーク」



大鳴門橋「うずしおウォーク」



【今後の取組】

○ 明石海峡大橋「海上ウォーク」：R1. 11. 9～11. 10

- ・ 「明石海峡大橋海上ウォーク」終了時には、参加者に淡路島特産の「たまねぎスープ」を提供
- ・ 「大鳴門橋うずしおウォーク」では、参加者の増加に繋がるPR手法等を検討

■ 瀬戸内海国立公園ウォーク（前年度の取組と効果）

【香川県・岡山県】

○瀬戸大橋スカイツアー

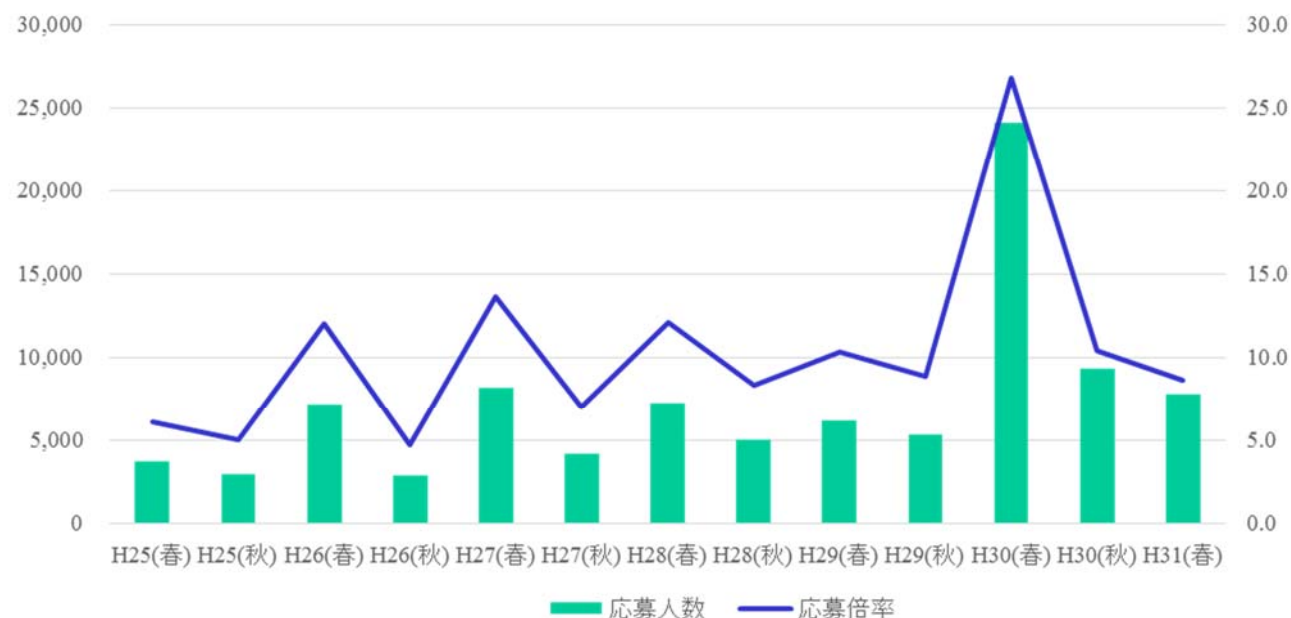
【取組概要】

- ・内容：瀬戸大橋線が真横を駆け抜ける管理用通路や、海面から175mの瀬戸大橋の塔頂など、一般の方が普段立ち入ることができない施設内を案内する。
- ・主催：瀬戸大橋利用促進同事業実行委員会
（岡山県・香川県・本四高速）
- ・期間：平成30年5月18,19,20,25,26,27日
10月19,20,21,26,27,28日
- ・予算：平成30年度予算額：900千円（参加料500円／人）
- ・参加者：定員150名／日

【取組効果】

- ・少雨の場合は開催するが、参加者は他の日に比べ少ない。
（春の参加者は898名。秋も同数の898名。）
- ・平成28年度より、当日キャンセルで欠員が出た場合は与島PAに来られた方を対象に先着順で当日参加受付を行うこととした。
- ・春・秋とも41都道府県から応募があった。
- ・直近の6年間は春より秋の応募倍率が低くなっている。

スカイツアー推移



■ 瀬戸内海国立公園ウォーク（前年度の取組と効果）

【香川県・岡山県】

○瀬戸内海国立公園指定日記念行事「屋島ウォーク」

【取組概要】

- ・内容:「瀬戸内海国立公園」として、日本最初の国立公園の指定地となった屋島で、指定日の3月16日ウォーキングイベントを開催し、「世界の宝石」とも称される瀬戸内海が多島美観を歩いて楽しみ、清掃活動を行うことで、屋島の魅力を再発見する。
- ・主催:香川県、高松市
- ・後援:環境省中国四国地方環境事務所、四国森林管理局
- ・協力:香川県里山ボランティアガイド組合、元気YASHIMAを創ろう会
- ・期間:平成31年3月17日

【取組効果】

「屋島ウォーク」へ参加したことで

- ・初めて参加して楽しかった。次回も参加したい。
- ・よい運動になり、有意義な1日だった。

などの積極的な意見が聞かれた。



■ 瀬戸内海国立公園ウォーク（今年度の取組）

【今年度の取組】

○ 昨年度、春の応募倍率26.8倍、秋は10.4倍と例年に比べ高かったため、今年度も春のスカイツアーは6日間の開催とした。

春：令和元年5月17日(金)、18日(土)、19日(日)、24日(金)、25日(土)、26日(日)

○ かがわ里山・里海ウォークは10月26日(土)に公洲森林公園で開催。

展望台から讃岐平野を眺めたり、青少年の森での樹木観察や菊花展見学など盛りだくさんのコース。

11月16日(土)には有明浜で開催。

自然や歴史ある名所の風景を楽しんでいただくとともにクリーンアップをととして山・里・海の環境について学べる見所満載のコース。

○ 「屋島ウォーク」は3月に開催予定。

○ 「第33回瀬戸内倉敷ツーデーマーチ(令和2年3月14日、15日)」を開催予定。昨年度は8,707名が参加。

○ 「明石海峡大橋海上ウォーク(令和元年5月25日、26日、11月9日、10日)」1日1,200人を募集。

○ 「大鳴門橋うずしおウォーク(令和元年9月14日、15日開催)」1日270人を募集。

○ 「第19回瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ(令和元年10月4日、5日、6日)」昨年度は全国から4,198名が参加。



■ 瀬戸内海国立公園ウォーク（今年度の取組）

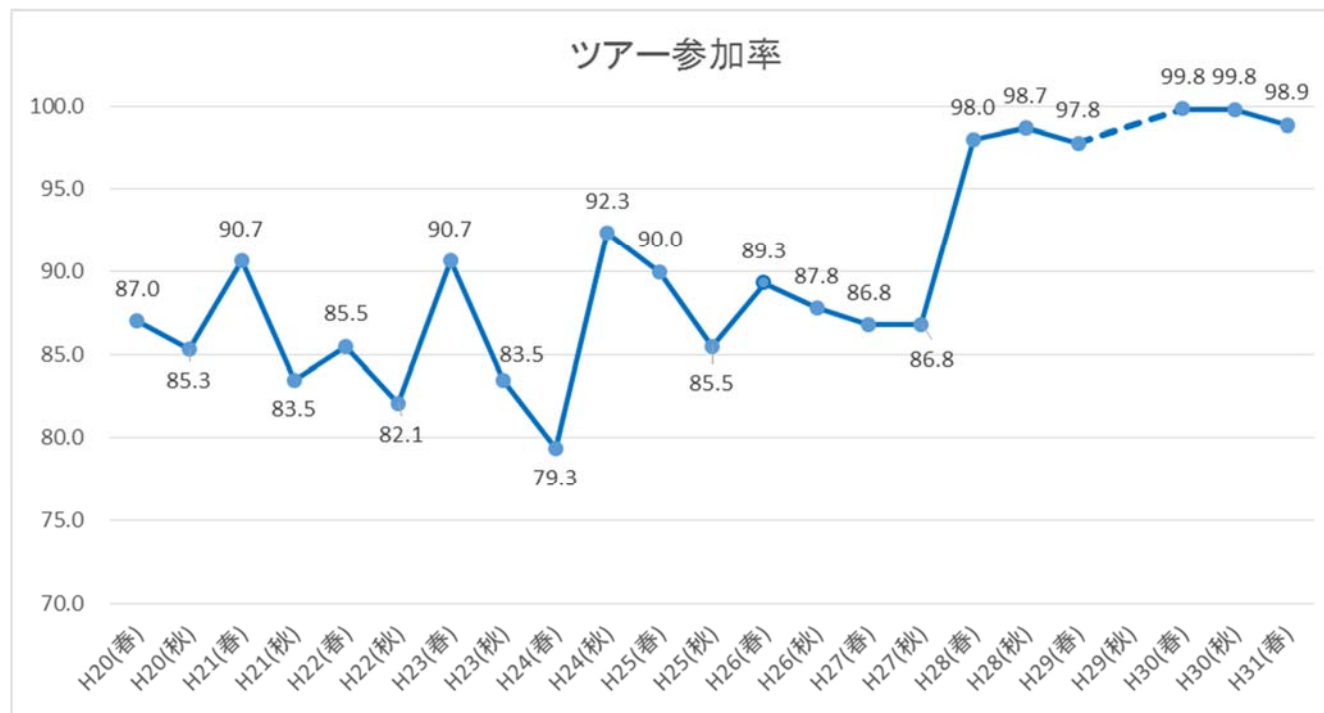
【香川県・岡山県】

【取組効果】

○春のスカイツアーは6日開催予定のうち1日が強風で中止となったため、参加人数は742人（平均応募倍率8.6倍）。北海道から沖縄までの39都道府県より応募があった。インターネットでの応募件数は2,672件、はがきは385件であり、インターネット応募が大半を占めている。

○H28年度からは、当日キャンセルがあった場合に現地で先着順にて参加者を募集することとし、令和元年春のスカイツアーでは、当日キャンセル待ちの参加者が42名もあり、参加割合は100%に近いものとなっている。

○9月からは参加機会の拡大を図るため、本四高速(株)が主体となって9月28日から12月1日までの金・土・日・祝の午前・午後で常設化を試行的に実施中。9月、10月の申し込みは8月5日に募集を開始したが、4日間で受付終了。11月、12月1日分は9月1日の募集開始で30分で受付終了となった。



■ 瀬戸内海国立公園ウォーク（来年度以降の取組）

【香川県・岡山県】

【来年度の取組】

- 瀬戸大橋スカイツアーは、明石大橋ブリッジワールドのように期間を拡大し、通年開催の予定。
 - かがわ里山・里海ウォークは山と海、それぞれの場所で開催を予定。
 - 「屋島ウォーク」は曜日関係なく例年3月16日に開催予定。
 - 「第34回瀬戸内倉敷ツーデーマーチ」は令和3年3月に開催予定。
 - 「明石海峡大橋海上ウォーク」
 - 「大鳴門橋うずしおウォーク」
 - 「第20回瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチ」
- } 令和2年度中の開催を予定。

■ インフラツーリズム（環瀬戸インフラマップ）

【香川県】

○環瀬戸インフラマップの利用

➤環瀬戸内海地域の各県がピックアップしたインフラ施設（道路施設、土木遺産、寺社、SAPA等）を、一つのマップ上にまとめたものを作成し、令和元年6月12日に公開。

環瀬戸協議会HP「SETOUCHI JOURNAL」



○取組効果

・・・8月末までのインフラマップ記事へのアクセス数：144件

➡ 協議会HPのバナーを県内市町HPに掲載し、更なる情報発信を図る。

■ インフラツーリズム（民間主導のインフラツーリズムの構築）

【取組概要】

- 旅行業者の企画するツアーに、インフラ施設を素材として組み込む。
- 観光資源となりうるインフラ施設見学の情報を行政から旅行業者へ提供し、業者が主体となって観光ツアーの企画・催行を行う。

【今年度の取組】

- 全国の旅行業者にインフラ施設情報をツアー素材として紹介。
 - 四国内のインフラ施設情報を、四国ツーリズム創造機構が今年9月に発行した「四国観光素材集2020」に掲載。



四国内インフラ施設紹介記事（四国観光素材集2020）

【今後の取組】

- 収集した施設情報について、協議会HPにおいても掲載・発信する。
- 県内の旅行業者に、左記「素材集」及び協議会HP内の下記情報を周知する。



収集した施設情報例

【取組効果のモニタリング】

- インフラツーリズムに関する観光業者の企画・催行状況をモニタリングする。
 - 上記「素材集」掲載記事に対する業者の反響
 - 県内の旅行業者におけるインフラツアー催行状況
- ➡
- インフラツアーを催行した業者に対するヒアリングを検討。

■ インフラツーリズム

(本四高速)

- ・明石海峡大橋、瀬戸大橋、多々羅大橋等でインフラツアーを実施。2018年度の参加者約17,700人。
- ・明石海峡大橋ブリッジワールドは累計12万人を突破。海外からの参加者は全体の10%～20%。
- ・瀬戸大橋スカイツアーは、来年度からの常設化に向け、9月28日～12月1日の間、金土日祝の毎週実施。
- ・「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」において、来島海峡大橋他がモデル地区に選定。

瀬戸大橋スカイツアーの常設化

- 2018年度は5月・10月開催で1,800人(最高倍率26.8倍)
- 参加機会の増大を目的に、2019年度は9/28～12/1の金・土・日・祝日の常設化を試行実施(即完売・大盛況)
- 来年度は、さらに拡大して通年開催を予定



塔頂175mの高さから見る360度の多島美



JR四国と本四高速との連携事業



鉄道の傍らを移動

来島海峡大橋他 (インフラツアーモデル地区)

- 国土交通省が2018年11月に設置した「インフラツーリズム有識者懇談会」で「インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト」を立ち上げ。
- 2019年7月、プロジェクトで社会実験を実施するモデル地区に来島海峡大橋他が選定される。
(全国5箇所・橋梁では唯一)
- 今後、インフラ施設と地域が連携したツアーの造成、インバウンド向けモニターツアーの実施など、モデル地区として社会実験に取り組む。
- 環瀬戸協議会の取り組みの一環として実施。



別紙1
インフラツーリズム魅力倍増プロジェクト 国土交通省

モデル地区選定箇所(5地区)の概要

- ① 鶴子ダム【宮城県大崎市】
・日本人の技術者により造られた日本初のアーチダムで選定土木遺産
・周辺には温泉、名勝、史跡等があり、農業遺産である大崎餅土も含めた道域連携モデル
- ② ハッポウダム【群馬県吾妻郡長野原町】
・建設中ダムでの多様な見学ツアー(やんぱつアズ)を開催
・今年度完成予定を踏まえ、建設段階から管理段階への移行モデル
- ③ 天ヶ瀬ダム【京都府宇治市】
・宇治市街地に近接
・立地を活かし、DMOと連携したツアー造成、淀川水系支流の高山ダムとの組み合わせなど広域連携モデル
- ④ 来島海峡大橋 他【愛媛県今治市】
・瀬戸内しまなみ海道上の世界初の三連吊り橋であり、複道体験ツアーを開催
・先行実施している明石海峡大橋のノウハウも取り入れ、長大橋のモデル
- ⑤ 鶴田ダム【鹿児島県薩摩郡さつま町】
・九州最大の重力式コンクリートダムで水位低下時には明治期の発電所遺構が出現
・霧島連山や桜島等の広域連携モデル

■ 文化芸術ネットワークの推進（前年度の取組と効果）

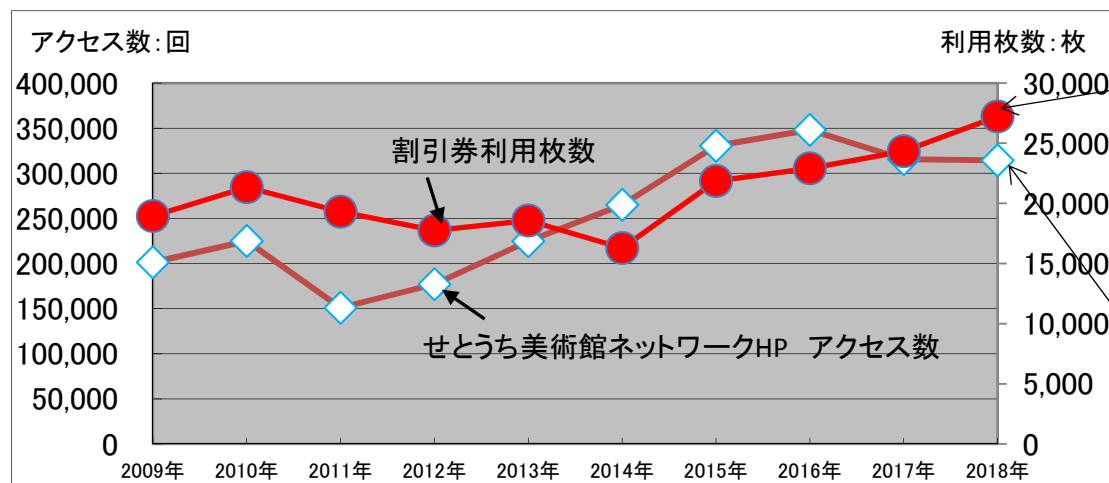
【本四高速】

せとうち美術館ネットワークの取組

【取組内容】

1. 平成30年4月に3施設、平成30年10月に2施設が新たに参加（当初6施設→平成31年3月時点で70施設）
2. 美術館めぐりでお支払いいただいた観覧料が実質5割引となるように図書カードでの還元やスタンプを集めれば参加施設のオリジナルグッズをプレゼントする「せとうち美術館ラリー」を実施
3. 「せとうち美術館ネットワーク特別講演会」、「せとうち美術館サミット」を開催（平成30年11月17日（土））
4. 「橋を渡って親子でアート鑑賞」の実施（平成30年8月19日（日）、平成31年2月19日（日））
5. せとうち美術館ネットワーク参加施設の展覧会情報の紹介（2ヶ月に1回ホームページで内容を更新）
6. せとうち美術館ネットワークホームページにおいて、新たに美術館めぐりモデルコースを紹介

【取組効果】



橋を渡って親子でアート鑑賞

割引券利用枚数
平成30年度（27,218枚）
対前年同期比11.9%増

HPアクセス数
平成30年度（314,425回）
対前年度比0.4%減

■ 文化芸術ネットワークの推進（今年度及び来年度以降の取組）

【本四高速】

【今年度の取組内容】

1. 参加施設の拡充
平成31年4月に2施設に新たに参加し、72施設として運用
2. 「せとうち美術館ネットワークスタンプラリー」の実施
応募期間を半年間から1年間に拡大すること等により、周遊観光の促進を図る
3. 幅広い層への認知度の向上を図ること等を目的に、瀬戸内国際芸術祭2019と連携
4. せとうちDMOとの連携によるインバウンド向けの認知度向上の取組を実施
5. 「せとうち美術館ネットワーク特別講演会」、「せとうち美術館サミット」を開催
実施日：令和元年11月24日(日)予定 場所：広島県立美術館
6. 「橋を渡って親子でアート鑑賞」の実施（令和元年8月19日（日））：あかがねミュージアム（新居浜市）
7. ホームページでの展覧会情報の紹介（2ヶ月に1回内容を更新）及び新たな美術館めぐりモデルコースを紹介



せとうち美術館ネットワーク特別講演会

【来年度以降の取組内容】

- 新規の取組
 1. 参加地域の拡大（山口県、大分県の施設が参加予定）
- 継続する取組
 1. せとうちDMO等との連携
 2. 「せとうち美術館ネットワーク特別講演会」、「せとうち美術館サミット」の実施
 3. 「橋を渡って親子でアート鑑賞」の実施
 4. ホームページでの展覧会情報の更新（2ヶ月に1回）及び美術館めぐりモデルコースの追加

■ 協議会で実施する情報発信について（前年度の取り組みと効果）

【本四高速】

【取組概要】

1. 協議会WEBサイトによる情報発信

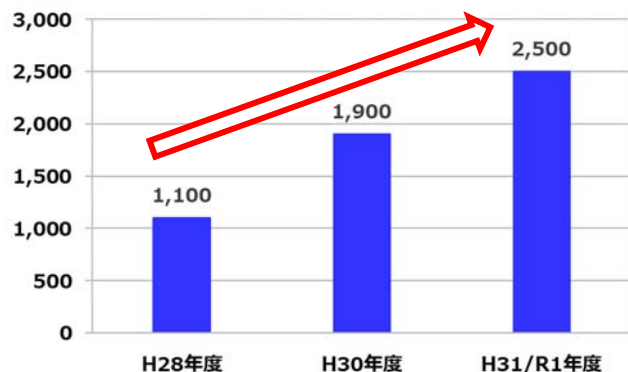
- (1) イベント情報の掲載
 - ・ウォーキングイベント、グルメイベント
- (2) 協議会の取組紹介
 - ・サイクリングコース、インフラツーリズム、城めぐり、美術館めぐり
- (3) 協議会WEBサイトのリニューアル（H31.3）
 - ・トップ画面のデザイン変更（常に最新の情報を表示）
 - ・キーワード検索機能の付加（掲載情報にタグを付ける）

2. 本四観光情報誌「瀬戸マーレ」による情報発信

- (1) 協議会の取組を紹介する誌面を開設
 - ・インフラツーリズムについて取材し、記事として紹介
 - ・記事は協議会WEBサイトにも掲載

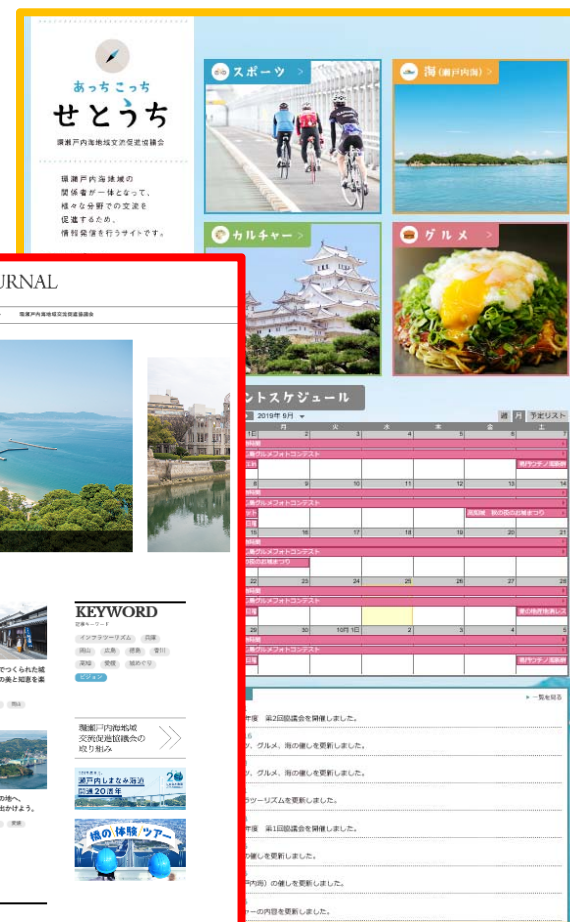
【取組効果】 WEBサイトへの月平均アクセス数の増加

- ・H30年度(リニューアル前)の約1.3倍
- ・H28年度(開設時)の約2.3倍

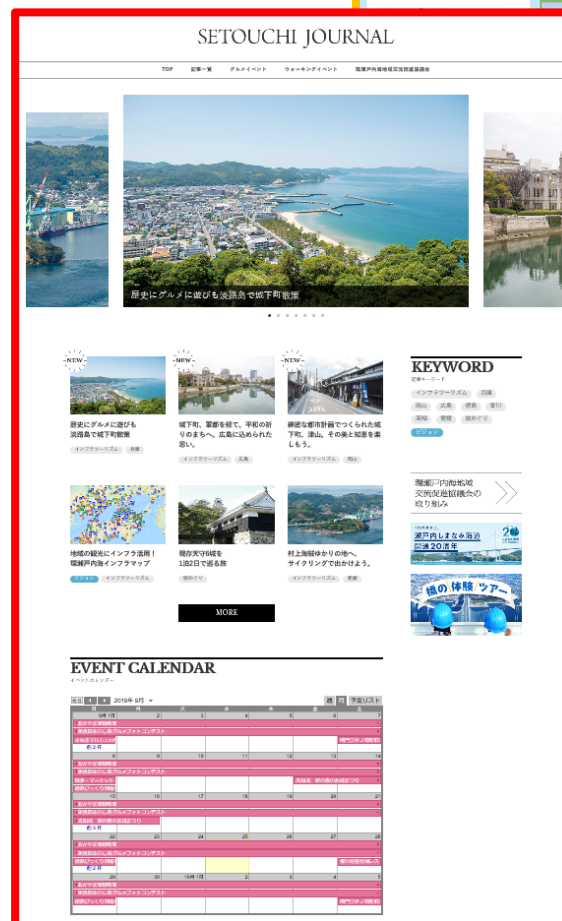


協議会WEBサイトのリニューアル

リニューアル前



リニューアル後



■ 協議会で実施する情報発信について（今後の取り組み）

【本四高速】

【今後の取組】

1. 協議会WEBサイトによる情報発信

- (1) イベント情報の掲載、協議会の取組紹介（継続）
- (2) 関係機関と連携した情報発信
 - ・協議会WEBサイトバナーの関係機関WEBサイトへの掲載
 - ・関係機関と連携したコンテンツの充実
 例：記事による協議会の取組紹介
香川県（インフラツーリズム）「インフラマップの作成」

2. 「瀬戸マーレ」による情報発信（継続）

- (1) インフラツーリズムについて取材し、記事として紹介
 - ・せとうちきらりぼし（2017年冬号～2019夏号、全7回）
- (2) グルメイベントについて取材し、記事として紹介
 - ・グルメイベントガイド（2019年秋号～、全7回予定）

【取組効果】

WEBサイトへの月平均アクセス数により検証

記事による協議会の取組紹介



「瀬戸マーレ」による情報発信



■瀬戸内しまなみ海道開通20周年記念式典・イベント(本四高速)

- 愛媛県、広島県等、地元自治体や各種団体と連携し、記念式典及び記念イベントを実施
- 20周年を契機に地域との連携をさらに深化させ、**利用促進・地域活性化を推進する**

1. 記念式典

日時：2019年6月1日（土）10:00～11:30
 場所：村上三島記念館（愛媛県今治市）
 主催：瀬戸内しまなみ海道開通20周年記念事業実行委員会
 （広島県、愛媛県、尾道市、今治市、上島町、本四高速 他）

式典参加者
約500名



地元児童による“未来宣言”



日本郵便より切手贈呈



「オリジナルフレーム切手」作成

2. 記念イベント

今治会場（多々羅しまなみ公園）

今治会場
6/1,2 来場者
約8,000名



←ANA特製
サイクルジャージ贈呈式



↑ ステージ前の観客



↑ 村上水軍太鼓

尾道会場（JR尾道駅前）

尾道会場
6/1,2 来場者
約25,000名



←帆船「みらいへ」
クルーズ体験

STU48と走ろう
「しまなみを渡る
サイクリング」



STU48

■ 歴史的遺産のネットワーク構築とPR（前年度の取組）

【高知県】

【前年度の取組 ～「現存天守6城を1泊2日で巡る旅」の広報活動～】

◆ 志国高知幕末維新博と連携したPR（会場・HP）

《企画の趣旨》

- ・話題性のある大型歴史イベントと連携し、広報（会場・HP）を行う ことにより多くの県外観光客への周知につながる。

○メイン会場：高知県立坂本龍馬記念館、
高知県立高知城博物館

○サブ会場：こうち旅広場

▼ 高知県立高知城博物館



▼ 高知県立坂本龍馬記念館



◆ 各城と連携した相互広報（HP）

《企画の趣旨》

- ・環瀬戸内海地域の現存天守6城の各HPで広報を行うことにより、県外旅行へのきっかけづくりを行う。

○掲載例（丸亀城）



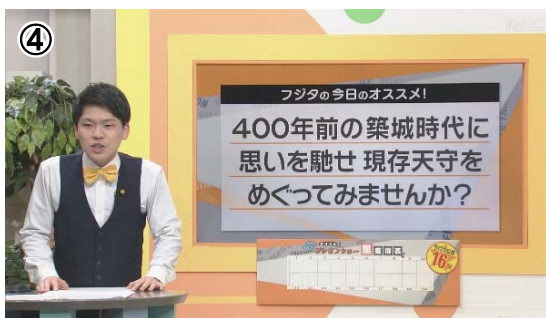
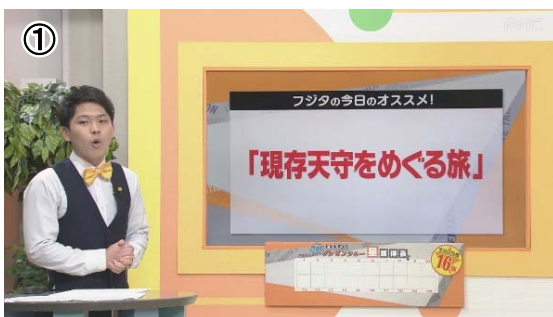
■歴史的遺産のネットワーク構築とPR（前年度の取組による取組効果）【高知県】

●RNC西日本放送における「現存天守 6 城を 1 泊 2 日で巡る旅」の紹介

○内 容

- ・番組名：RNC西日本放送「every.フライデー」
- ・放送日時：平成31年4月5日（金） 15：50～16：43
＊コーナーの放送は16時33分ごろ放送
- ・番組概要：香川・岡山の主婦層をメインターゲットに、ニュースや最新情報などをお届けする生活情報番組
- ・紹介内容：番組のコーナーの一つ「フジタのオススメプレゼンショー」にて現存12天守のうち、6城がある
中四国エリアを巡る旅を提案する形で紹介

○番組での様子



- ・広報活動の結果、メディアでの紹介につながった。
- ・メディアで発信頂くことで、交流促進が図られると考えている。

【今年度の取組】

◇パンフレットの更新・充実（外国人観光客向けPR方法の検討及び関係機関との調整）

「企画の趣旨」

- ・パンフレット内容を更新するとともに、英語語版パンフレットの作成等の外国人観光客向けのPRについて検討を行い、さらなる誘客や交流促進を目指す。



◇協議会HPを活用した情報発信方法の検討 ◇県や市町村の各イベントと連携し、会場やHPでのPR

「企画の趣旨」

- ・協議会HPとテーマに関連するHPとの相互リンクを行い、興味を持ってもらうきっかけづくりを行う。



「企画の趣旨」

- ・話題性のある大型イベントと連携し、広報（会場・HP）を行うことにより、多くの県外観光客への周知につなげる。



〇リョーマの休日 自然・体験キャンペーン

「歴史」と「食」の観光資源に加え、もう1つの強みである「自然・体験」をさらに磨き上げ、観光キャンペーンを展開。



取組の概要

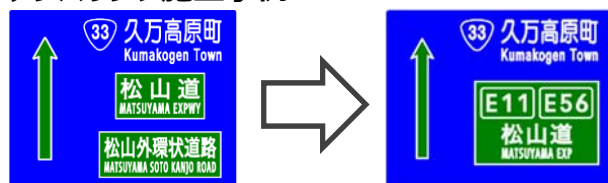
- ◆訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内を実現するため、高速道路ネットワークにおいて、路線名に併せて路線番号を用いて案内する『ナンバリング』を導入。
- ◆高速道路本線及びIC付近（直轄国道）については、2020年までを目標に整備を実施。直轄国道以外について、標識分科会等で優先箇所など整備方針を策定し、計画的に整備を推進。
- ◆各県の観光パンフなどについても、順次『高速道路ナンバリング』の標記に変更。

※取組概要をH30.12.27記者発表 [訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内の実現に向けて～道路標識の改善に向けて（徳島県・香川県・愛媛県・高知県同時発表）～]
※中国地方分についてはH31.1.21に記者発表 [中国5県分をまとめて中国地方整備局が記者発表]

■整備状況

- ◆平成30年度に直轄73箇所の整備を実施し、平成30年度末時点で直轄83箇所整備済み ※ 中国、四国

●ナンバリング施工事例



■整備方針の策定

- ◆交通量の多いICを優先的に整備
- ◆IC間隔の狭い路線は地域一括で整備
- ◆道路管理者が連携して年次計画を策定し、全ICへの設置は2020(R2)年度中に完了予定 ※ 中国(H31.1.21記者発表) 四国(H30.12.27記者発表)

■印刷物への記載促進

- ◆整備局発行の道路事業概要図等の印刷物は実施
- ◆各県発行の観光パンフ等へのナンバリング表記依頼

※ 中国、四国

■高速道路案内

- ◆高知自動車道無料区間（須崎東IC～四万十中央IC間）にガソリンスタンド案内板設置完了
- ◆大洲道路、宇和島道路は名称統一をナンバリングと合わせて実施予定であり、大洲管内のガソリンスタンド案内板設置検討を含め、委員会の実施に向けて調整中

◆ガソリンスタンド案内板設置状況

〈高速道路〉



〈一般道〉



取組の概要

- ◆観光先進国や地方創生の実現に向け、観光地等へのわかりやすい案内となるよう、交差点名標識（交差点において、地点名を表示した標識）に観光地名称を表示する標識の改善を推進。
- ◆直轄国道以外の二つのある交差点は、各自治体、地元関係者、公安委員会、道路管理者、観光部局と連携を図りながら改善を推進。

※取組概要をH30.12.27記者発表 [訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内の実現に向けて～道路標識の改善に向けて（徳島県・香川県・愛媛県・高知県同時発表）～]

※中国地方分についてはH31.1.21に記者発表 [中国5県分をまとめて中国地方整備局が記者発表]

■整備状況

◆平成30年度 直轄8箇所、直轄以外2箇所の交差点案内標識を改善実施

直轄・直轄以外	路線	場所	改善前の表示内容※	改善後の表示内容
直轄	国道9号	島根県安来市	荒島東	王陵の丘入口
	国道9号	島根県出雲市	荒神谷入口	荒神谷遺跡入口
	国道54号	島根県雲南市	岩倉	加茂岩倉遺跡
	国道11号	香川県高松市	屋島西町	屋島競技場
	国道32号	香川県綾川町	—	滝宮天満宮
	国道196号	愛媛県松山市	—	松山総合公園入口
	国道56号	愛媛県宇和島市	津島町高田南楽園入口 交差点	南楽園入口
直轄以外	国道55号	高知県高知市	—	吾岡山文化の森入口
	国道317号	愛媛県松山市	—	石手寺
	県道14号	高知県南国市	—	桂浜入口

香川県高松市での改善事例（国道11号）

【改善前】



【改善後】



※ 中国、四国

■これから新たに取り組む箇所

◆今後、新たに直轄3箇所、直轄以外1箇所の交差点案内標識の改善を実施

直轄・直轄以外	路線	場所	改善前の表示内容※	改善後の表示内容	
				日本語表記	英語表記
直轄	国道9号		—	常栄寺雪舟庭園	Joeiji Temple Seshutei Garden
	国道191号	山口県萩市	津田	須佐ホルンフェルス入口	Susa Hornfels Ent.
	国道55号	徳島県美波町	—	南阿波サンライン入口	South Awa Sunline Ent.
直轄以外	県道208号	香川県琴平町	—	こんぴらさん	Konpirasan

※ 中国、四国

※ 改善前に標識が設置されていない、又は、標識に表示されていない場合は「—」を示す

取組の概要

- ◆外国人旅行者にも分かりやすい道路案内標識となるよう、「ローマ字」表記から「英語」表記の改善及び統一。
- ◆「訪日外国人旅行者の受け入れ環境整備事業」における戦略・地方拠点に選定された地区（広島地区、鳥取県西部地区、松江地区、倉敷地区、鳴門・南あわじ地区、松山地区、高知地区）から、各自治体、道路管理者、観光部局等と連携を図りながら英語表記を改善。
- ◆戦略・地方拠点以外での外国人観光客の多い地域についても関係機関で連携を図りつつ、英語表記の改善を促進。

※取組概要をH30.12.27記者発表 [訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内の実現に向けて～道路標識の改善に向けて（徳島県・香川県・愛媛県・高知県同時発表）～]

※中国地方分についてはH31.1.21に記者発表 [中国5県分をまとめて中国地方整備局が記者発表]

■ 整備状況 優先整備エリア

県	場所	改善前	改善後	改善内容・イメージ	整備状況
徳島	徳島市	Bizan	Mt.Bizan	英語表記 	徳島市 エリア全体
		Ryogokubashi dori	Ryogokubashi-dori St.	英語表記 	整備中
	三好市	Tsurugisan	Mt.Tsurugi	英語表記 	三好市 エリア全体
		Kazurabashi Bridgi	Iya-no-Kazurabashi	表記統一 	整備中
		Kazurabashi			

県	場所	改善前	改善後	改善内容・イメージ	整備状況
香川	高松市	Ferry dori	Ferry-dori St.	英語表記 	高松市 エリア全体
		Ritsurinkoen mae Ritsurin Garden	Ritsurin Garden	表記統一 	整備中
愛媛	今治市	Kareiyama Tenbo Park	Kareiyama Observatory Park	英語表記 	今治市 エリア全体
		Imabarijo Castle Imabari Castle	Imabari Castle	表記統一 	整備済み

取組の概要

- ◆外国人旅行者にも分かりやすい道路案内標識となるよう、「ローマ字」表記から「英語」表記の改善及び統一。
- ◆「訪日外国人旅行者の受け入れ環境整備事業」における戦略・地方拠点に選定された地区（広島地区、鳥取県西部地区、松江地区、倉敷地区、鳴門・南あわじ地区、松山地区、高知地区）から、各自治体、道路管理者、観光部局等と連携を図りながら英語表記を改善。
- ◆戦略・地方拠点以外での外国人観光客の多い地域についても関係機関で連携を図りつつ、英語表記の改善を促進。

※取組概要をH30.12.27記者発表 [訪日外国人をはじめ、すべての利用者にわかりやすい道案内の実現に向けて～道路標識の改善に向けて（徳島県・香川県・愛媛県・高知県同時発表）～]

※中国地方分についてはH31.1.21に記者発表 [中国5県分をまとめて中国地方整備局が記者発表]

■整備状況 優先整備エリア

県	場所	改善前	改善後	改善内容・イメージ	整備状況
広島	広島市	Heiwa Odori Ave	Peace Boulevard	英語表記 	広島市 エリア全体
		Rijo-dori	Rijo dori Ave.	英語表記 	整備済み
		Hiroshimajo Castle South	Hiroshima Castle South	英語表記 	

県	場所	改善前	改善後	改善内容・イメージ	整備状況
岡山	倉敷市	Bikan Area	Bikan Historical Area	英語表記 	倉敷市 エリア全体
					整備済み

取組の概要

- ◆「道の駅」施設の現状評価を行い、施設の様々な課題に対して、施設設置者と施設管理者でコミュニケーション活動により施設整備等の方向性の理解を深める。
- ◆道の駅施設の現状評価一覧表を作成して施設の誇れる所を明確化し、道の駅連絡会や道路管理者会議等の場で情報を共有を図り、各県と個々の道の駅と連携して、利用者の快適性向上の取り組みを実施。

■ 女性目線による「道の駅」の点検 ～女性職員が四国内すべての道の駅を点検しました！～

◆ 点検結果をとりまとめた「道の駅診断書」を作成し「道の駅」ブロック別連絡会にて情報提供

- 「道の駅」ブロック別連絡会開催日(2019年)
徳島(4/10), 香川(3/11), 愛媛(3/14), 高知(4/12)
- 点検結果の一例(四国管内道の駅86駅: 点検実施時)



明るく清潔感のあるトイレ(八幡浜みなと)



見やすく整理された情報コーナー(八幡浜みなと)

● 中国地方整備局での実施事例

【くらしでミーティング】H30.11.1～2開催

平成30年度国土交通省国土技術研究会にて、くらしでミーティングが実施した『女性職員が管内「道の駅」を総点検』をポスターセッションにて紹介。

パネルにて道の駅点検を説明



取組の概要

- ◆幹事会委員の投票により、最も賛同の多かった図柄を環瀬戸内海地域交流促進協議会オフィシャルロゴとして決定し、関連性の強調、他の広域観光協議会との差別化、ブランド力アップに活用。
- ◆環瀬戸協議会HP掲載や、関係機関HPにおいて環瀬戸協議会バナーの作成、また、チラシ・パンフレット等にオフィシャルロゴを活用することで、認知度向上および観光客受入れ環境整備を推奨していることのPRに活用。

オフィシャルロゴ



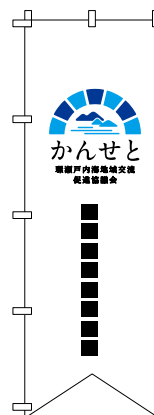
かんせと

環瀬戸内海地域交流
促進協議会

コンセプト

- ・本州、四国の架け橋である本四架橋をアーチで表現。
- ・扇状に広がる形状で未来への発展や広がりイメージ。

活用
イメージ
(案)



のぼり



ホームページ



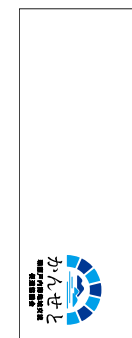
マンホール



名刺



スマホアプリ



手ぬぐい・タオル

- ◆環瀬戸内海地域交流促進協議会構成員、各関係団体等との相互リンクの設定により、情報を結びつけ幅広く環瀬戸内海地域をPR。
- ◆各県等の既存の観光素材とのリンク設定により、情報信頼性の向上、認知度向上に有効活用。
- ◆環瀬戸内海地域交流促進協議会ホームページを多言語化することによる訪日外国人観光客へのPR機会の創出。



取組の概要

- ◆四国地方整備局では、四国らしさの感じられる素晴らしい景観を選定する「四国八十八景プロジェクト」を実施。
- ◆平成30年度に四国八十八景の全ての選定を完了し、本格的なプロモート活動の推進に移行。メディアや関係団体への情報発信により、選定地を巡る旅行商品の販売がなされた他、今年度からはNHK四国4県の放送局より四国八十八景を題材とした番組が開始。集客力の高い観光関係者や民間企業からパンフレットの送付依頼が多数あり、Instagramやツイッターなどでも投稿が増えつつある。今後も四国八十八景の認知度の向上のため継続的にPR活動を行う。

■プロモーション活動による効果

■選定地を巡る旅行商品の販売

幡多郡三原村どぶろく祭り・ゆず祭り「**四国八十八景・四季の山野草が彩りをそえる星ヶ丘公園**」日帰り

38 星ヶ丘公園



開催日：11月3日（催行済み）
概要：星ヶ丘公園で園内に咲くリンドウを散策・三原村特産ゆず祭り・「どぶろく農林文化祭」でバーベキューや地元素材の食ブース40店

46名参加

紅葉のく**四国八十八景認定**玉織姫にまつわる平家伝説が眠る「**轟の滝**」と吉井勇記念館・土佐の隠れ家「湖畔遊」で食す里山弁当とデザート

25 轟の滝



開催日：11月19日（催行済み）
概要：歌人吉井勇記念館見学・日本の滝百選の「轟の滝」・物部川のダム湖を臨む「湖畔遊」でのランチ・国登録有形文化財「松尾酒蔵」で女性に好評のにごり酒

40名満席

■四国八十八景のNHK番組による紹介



2019年4月より、NHK四国4県の放送局より四国八十八景を題材とした番組が開始。カメラマンが四国八十八景を4Kカメラで撮影してご紹介し、1年かけて88箇所をまわる予定。

■「四国八十八景」パンフレットによるPRの拡大



「四国八十八景」パンフレットを自治体や道の駅、みなとオアシス、観光関係者等に約8万部を配布。

直近では、観光関係者や民間企業からパンフレットの発送依頼が多数あり。

- ・例・愛媛県観光物産協会
モンベル、オレンジフェリー他